

展望や、次世代パワーエレクトロニクスの発展のために JST をはじめとする公的機関に求められるものは何か、今後の産学連携・産学官連携のあり方について議論を深めることを狙いとしています。

次世代パワー半導体にご関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしています。

※研究成果展開事業（スーパークラスタープログラム）

これまで地域で取り組まれてきた地域科学技術振興施策の研究成果を活かしつつ、社会ニーズ、マーケットニーズに基づき国主導で選択と集中、ベストマッチを行い、国際競争力の高い地域の広域連携によるスーパークラスターを形成することで、インパクトあるイノベーションの創出を目的とするプログラムです。

■開催日時：平成 30 年 2 月 23 日（金）13:00～17:20

（同会場レセプションホールにて 12:00～16:30 に成果展示を実施）

■開催場所：富士ソフトアキバプラザ 5 階アキバホール

（〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町 3）

■プログラム一部抜粋：

※プログラム詳細→<http://www.jst.go.jp/super-c/report/flyer.pdf>

・基調講演 1

「Transformative Electronics が築く未来社会」

天野 浩

（名古屋大学 未来材料・システム研究所、

未来エレクトロニクス集積研究センター センター長、教授）

・基調講演 2

「豊かな省エネ社会に向けた次世代パワーエレクトロニクスの取り組みと展望
—SIP「次世代パワーエレクトロニクス」の取組を中心に—」

大森 達夫

（内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

次世代パワーエレクトロニクス担当 プログラムディレクター（PD））

・愛知地域からの活動実績と今後の展望

宮田 隆司

愛知地域スーパークラスタープログラム 代表研究統括

・京都地域からの活動実績と今後の展望

西本 清一

京都地域スーパークラスタープログラム 代表研究統括

・パネルディスカッション

<テーマ>

「産業界から見た我が国の次世代パワーエレクトロニクスの将来展望、
望まれる公的機関の支援や産学連携について」

ファシリテータ :

松波 弘之 (科学技術振興機構 産学連携アドバイザー)

パネラー :

安部 静生 トヨタ自動車株式会社 パワートレーンカンパニー 常務理事

藤平 龍彦 富士電機株式会社 電子デバイス事業本部 開発統括部 統括部長

中村 孝 ローム株式会社 研究開発部 主席研究員

福永 泰 日本電産株式会社 専務執行役員 中央モーター基礎技術研究所長

今井 尊史 株式会社アイケイエス 代表取締役社長

古久保雄二 福島 SiC 応用技研株式会社 代表取締役社長

※シンポジウム終了後 17:30~19:00、同会場内レセプションホールにて、

交流会・成果展示(参加費 4,000 円)を開催いたします。

奮ってご参加ください。

■参加登録および問い合わせ先

参加登録→<http://www.jst.go.jp/super-c/>

シンポジウム運営事務局(株式会社ディーワークス内)

Email: superc@d-wks.net

以上